新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学医歯学総合病院で 2015 年 1 月より 2017 年 12 月の間に子宮体癌に対する腹腔鏡手術またはロボット支援下手術を施行した症例	
③概要	
子宮体癌に対する腹腔鏡手術またはロボット支援下手術（低侵襲手術）が普及しているが、日本において、実施数、実施施設、手術適応、手術術式、治療成績に及ぼす影響についてはしっかりとしたデータがないのが現状である。そのために日本産科婦人科学会に属する多くの施設で、本実態調査を行うことで、本邦の現状を把握することにより、問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対する低侵襲手術のより適切で安全な普及を図ることを目的とする。	
④申請番号	2021-0331
⑤研究の目的・意義	日本産科婦人科学会に属する多くの施設で、本実態調査を行うことで、本邦の現状を把握することにより、問題点を明らかにし、今後の子宮体癌に対する低侵襲手術のより適切で安全な普及を図ることを目的とする
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2024 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	子宮体癌に対する低侵襲手術の安全性を確認するために必要な臨床情報を診療録から収集し、匿名化した状態で共同研究機関である東海大学に送付する。全国から情報を収集された低侵襲手術に関する臨床情報を解析し、手術の安全性を検証する。
⑧利用または提供する情報の項目	臨床情報（手術の内容、手術前の診断、術後の治療、病理診断結果、再発に関する情報など）
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科産婦人科　吉原弘祐 共同研究機関：東海大学医学部専門診療学系産婦人科学　吉田　浩
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科産婦人科　関根正幸 共同研究機関：東海大学医学部専門診療学系産婦人科学　吉田　浩
⑪お問い合わせ先	所属：産婦人科 氏名：吉原弘祐 Tel：025-227-2320 E-mail：yoshikou@med.niigata-u.ac.jp